

1	全体として順調に進捗しているか	○YES	NO
1-2	<p>1でそう考える理由（YESの場合は、具体的に何が進捗したのかも記入してください。）</p> <p>9月末現在で全体の14%が完了し、81%が実施中、5%が着手済みであり、実施中の項目は3月末時点と比べて19%の増となっている。今年度より機構改革を実施し、区政改革を推進する専任組織として総合企画担当を設置し、区長改革マニフェストの進捗を図ってきた。この半年間で、新たに庁内情報紙の発行やわかりやすい案内表示、地域レポーター制度、区役所点検制度の見直し、会計帳票の整備（公金外現金）などが次々に実現でき、改革のスピード・効率性は高まったと感じている。ワンストップ窓口のサービス拡充については、実務フローや要員体制の検討に時間を要し、実施が遅れているが、全体としては順調に進捗しているものと考ええる。</p>		
2	現在の状況で進めば目標は期限内に達成できるか	○YES	NO
2-2	2でNOの場合、そう考える理由		
3	<p>3 計画の修正が必要と思う事項及びその理由</p> <p>各種団体の自立に向けて事務局体制や役員研修会の実施などについて検討してきたが、区単独の取り組みには限界があるので、団体への関与のあり方そのものを全市的に見直し、基準づくりを行う方向で進める必要があると考えている。</p>		
4	職員の自立的な改革の取組は進んでいるか（浸透しているか）	○YES	NO
4-2	<p>4でYESの場合はその事例、NOの場合はその要因</p> <p>昨年末の職場改善提案で11の改善案が出され、それぞれ具体化に向けて自主的な取り組みが進んでいる。実現できた主なものは「国保等認定証更新事務の効率化」「業務用自転車の一元管理による削減」「担当外ヘルパー制度」「わかりやすい案内表示」などである。また、今年5月から発行している庁内情報紙「みなと一く」の編集委員会には各担当から若手職員が参画し、活発な意見交換を行い、情報紙を毎月発行してきた。さらに、CS研修に参加した職員を中心にCS推進委員会が結成され、9月以降、PDCAサイクルによる区役所サービス向上に取り組んでいる。まだ十分とはいえないが、昨年度に比べて改革に取り組む職員層が広がり、若手職員の自主的な取り組みが各所に見られるようになってきた。</p>		
5	<p>5 今後改革を進めるにあたって障害となることは何か。懸念されることは何か。</p> <p>また、解決策はあるのか。</p> <p>危機的な財政状況に対応するため、施策・事業及び人件費の見直しにより全市的に経費削減に取り組む中で、当区においても経費削減案を作成したが、市民協働によるまちづくりなど区政改革推進のための予算・要員確保への影響が懸念される。</p>		
6	改革の取組を積極的に情報公開しているか	○YES	NO
6-2	<p>6でYESの場合はその事例、NOの場合はその要因</p> <p>マニフェストの骨子及び関連する具体的取組（予算）をわかりやすく区民に紹介する「区長改革マニフェスト（概要版）」を3月末に作成し、区役所内に備え付け、区民の閲覧に供するとともに、区政だより7月号でその概要を紹介、PRを行った。さらに、地域においても各町会の回覧に付するとともに、各種団体の総会や区政協力会、各種行催事などの場で参加者に配布し、区長自らが出向いて説明した。以上のような積極的な情報公開・PRの結果、区政改革の取り組みに対する区民の認知度は昨年度に比べて格段に向上していると考ええる。</p>		

7 今年度の上半期におけるマニフェストの進捗状況に対する自己評価をご記入ください。

機構改革により、積極的かつ効率的に区政改革に取り組む体制が整い、マニフェストについても全体として順調に進捗させることができた。また、課題であった職員の自立的な改革への取り組みについても、若手を中心に広がってきた。

8 今後のマニフェストの進捗に向け、どのような取組を行うのか

- ① ワンストップ窓口のサービス拡充、防災避難マップの作成など着手済みとなっている4項目について早期完了できるよう、経営会議において課題を整理し、重点的に進捗を図る。
- ② 財政状況が厳しい中ではあるが、「わがまちみなとフォーラム」などプラットフォームづくりの取り組みの中から重点事業を絞り込んで、来年度の予算ならびに要員確保に努める。
- ③ 職員提案表彰制度やCS推進委員会、庁内情報紙編集委員会などを活用して、職員の自立的・自主的な改革の取り組みを促進する。

※ 「YES」、「NO」は、いずれかを○で囲んでください。